

泊高等学校 応用数学 シラバス

「高校数学Ⅰ」	単位数	2単位
	学年・学級	第3学年～第4学年

1 学習の到達目標 等

学習の到達目標	数と式、図形と計量、2次関数について理解を深め、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書・副教材等	実教出版「高校数学Ⅰ」

2 学習計画及び評価方法 等

※評価の観点：a(関心・意欲・態度)、b(数学的な見方や考え方)、c(数学的な技能)、d(知識・理解)

学 期	学習内容	月	学習のねらい	備考：①学習活動の特記事項、②副教材使用等	考 査 範 囲	評価の観点の ポイント				
						a	b	c	d	
前 期	1章 数と式 [26]									
	1節 整式 [13]									
	1 整式 (1)	4	単項式、単項式の次数、係数、多項式、項、定数項、整式、同類項、整式の次数、 n 次式など、式についての用語の意味を理解し、整式を整理するなかで、式についての見方を豊かにする。	F:p.12-17	前期 中間 考査	○		○	○	
	2 整式の加法・減法 (1)		整式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。	F:p.18-19				○	○	
	3 整式の乗法 (2)		指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて整式を展開することができる。	F:p.20-21					○	○
	4 乗法公式 (2)		乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。また、式の一部を1つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって整式を展開することができる。	F:p.22-23					○	○
	5 因数分解 (7)	5	分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。また、式の一部を1つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって因数分解することができる。	F:p.24-27					○	○
	2節 実数 [8]									
	1 数の分類 (1)	6	自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味をもつ。	F:p.29			○	○		○
	2 根号を含む式の計算 (7)		根号を含む式の基本的な計算をすることができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用する能力を伸ばす。	F:p.30-32					○	○
3節 方程式と不等式 [14]										
1 2次方程式とその解き方① (6)	7	2次方程式について理解し、平方根の考えや、因数分解を用いて2次方程式を解くことができる。	F:p.44-45	前期 期 末 考 査				○	○	○
2 2次方程式とその解き方② (8)	9	解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。	F:p.45-46					○	○	○
2章 2次関数 [16]										
1節 2次関数とそのグラフ [8]										
1 2次関数とそのグラフ (8)	10	具体的な事象から、2次関数の概念を理解して、2次関数のグラフの特徴を学び、そのグラフをかきことができる。また、2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ を y	F:p.54-66				○	○	○	

